

みずほ証券 会社案内

Corporate Profile
2024-2025

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

最も信頼され、 最も必要とされる 証券会社をめざして、 お客さまと 「ともに挑む。ともに実る。」

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

みずほ証券は常に自らを変革し、お客さまとともに、課題解決・価値創造に挑戦します。そして、お客さま、市場、社会から最も信頼され必要とされる魅力的な証券会社をめざします。

新NISAが始動し、日経平均も史上最高値を更新しました。日本経済の持続的成長、貯蓄から投資へのシフト、更には企業の新たな価値創造に向けた変革と進化への内外市場の期待の高さを表しています。かかる中、証券会社として、お客さまの実り豊かな生活の実現に貢献し、ひいては日本経済の持続的な成長を後押しすることが重要な責務であり使命であると考えています。

人生100年時代における豊かな家計資産の形成、次世代への資産承継、サステナビリティ、DXなど、お客さまが抱える課題は多岐にわたります。〈みずほ〉の豊富な知見やビジネス基盤、投資家ネットワークを活かし、個人の資産形成、企業価値の向上、社会の課題解決など、あらゆるアジェンダに、お客さまとともに挑戦します。

加えて、変化の予兆やリスクに目配りしながら、お客さまの声やニーズをしっかりと受け止め、プロフェッショナルとして“新たな解の創造”

にも挑戦していきます。そして何より主体的な誠意、情熱、創意工夫をもって、社員一同、お客さまに寄り添い、持続的成長に向け、ともに歩んでいきます。

2024年度は、グループ内の“変化の兆しを太い潮流にしてい”重要な年度として、「お客さま本位」の徹底、「差別化と競争優位の確立」、「グループ全体を牽引する成長機会の探求」を軸に、ビジネスをさらに前進させていきます。現場・社員目線の尊重、ガバナンス統制機能の強化、業務運営の効率化にもしっかりと取り組みます。お客さまをはじめとする、すべてのステークホルダーの皆さまと、ともに挑み、ともに実ることで、最も信頼され、最も必要とされる証券会社になっていきます。

皆さまにおかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

みずほ証券株式会社 取締役社長 浜本 吉郎



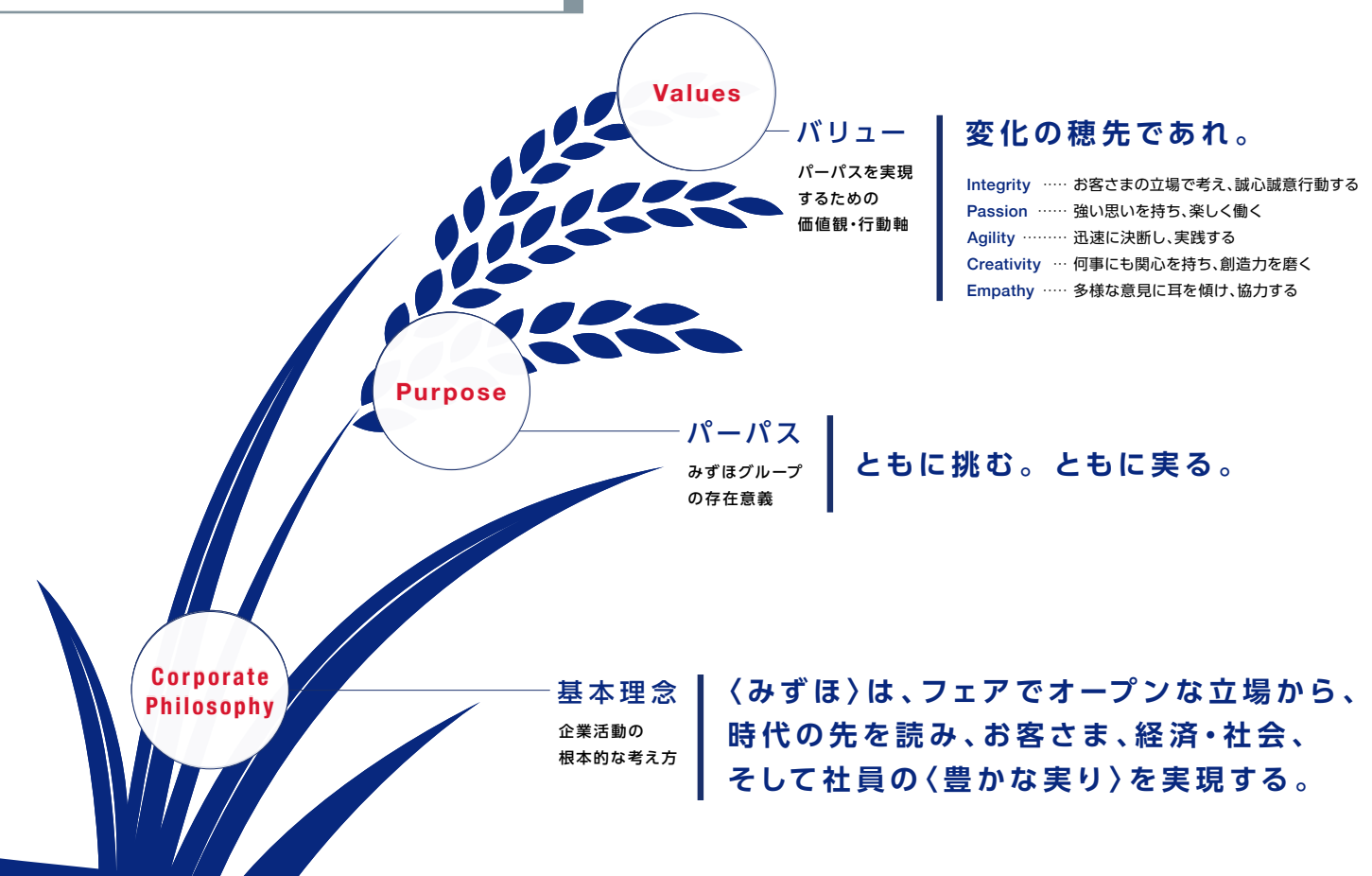
みずほ証券の フィデューシャリー・デューティーの 実践に向けた取り組みについて ～お客さま本位の業務運営の徹底～

みずほ証券（以下「当社」）は、〈みずほ〉グループの一員として、株式会社みずほフィナンシャルグループが定める『〈みずほ〉の企業理念』を採択しています。

『〈みずほ〉の企業理念』においては、「ともに挑む。ともに実る。」をパーパスとして定めるとともに、パーパスの実現に向けたバリューの中で、「お客さまの立場で考え、誠心誠意行動する」と定めています。すべての役員と社員がその価値観・行動軸を共有することとしており、当社をはじめとするグループ各社は、フィデューシャリー・デューティー*（お客さま本位の業務運営）を全うすべく、お客さまの多様なニーズへの的確な対応や、最高水準のソリューションを提供する取り組みを行っています。

* 他者の信託に応えるべく一定の任務を遂行する者が負うべき幅広いさまざまな役割・責任の総称





みずほフィナンシャルグループは、

〈みずほ〉として行うあらゆる活動の根幹をなす概念として、

基本理念・パーパス・バリューから構成される

『〈みずほ〉の企業理念』を制定しています。

この考え方に基づきグループが一体となって

事業運営・業務推進を行うことで、お客さまと経済・社会の発展に貢献し、

皆さまに〈豊かな実り〉を実現してまいります。

パーパスに込めた思い

日本初の銀行である第一国立銀行。

〈みずほ〉の源流の一つである同行が発足した1873年から150年が過ぎました。

グローバリズムの質的変化、ESGへの急速な意識の高まり、テクノロジーの進展に伴う社会変革、

少子化・高齢化の加速等、時代はますます不確実性を増し、過去の延長線上に未来への解はありません。

そんな時代を切り開いていくために、日本、そして世界には、多くの挑戦が求められています。

これからの私たちは、あらゆる人々と関わり合いながら、

これまでの常識を超える解をこれまでにないスピードで創出しつづけなければなりません。

〈みずほ〉には、渋沢栄一、安田善次郎等数多くの先人がフェアでオープンな姿勢と先見性をもって、社会経済の発展に挑んできたDNAがあります。

そして、現在の私たちには、だれよりも変化に先駆け、新しい価値を生みだそうとする熱意があります。

こうした背景や思いを踏まえ、〈みずほ〉は、「ともに挑む。ともに実る。」をパーパスとして掲げています。

それは、お客さま一人ひとりの夢と希望に向かう挑戦に寄り添い、

金融やコンサルティングの力で幸福な人生に貢献すること。

それは、新しい技術や事業へ挑む企業に、他企業との協業や、事業・金融面のサポートをしながら、

サステナブルな社会に向けてともに歩んでいくこと。

そしてそれは、〈みずほ〉で働くすべての人がつながり合い、

日々新たな視点で変革や改善に取り組み、未来を変えていくこと。

お客さまの挑戦を支え、自らも変革に挑戦しながら、豊かに実る未来を共創していく。

その決意を新たに、私たちの思いをこのことばに託しています。

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

みずほフィナンシャルグループでは、グループガバナンスを実効的に機能させるべく、当社を含む中核子会社においても、経営の自己規律とアカウンタビリティを機能させることを企図した企業統治システムを構築しています。また、監査・監督機能の高度化と意思決定の迅速化を目的として、監査等委員会設置会社とするとともに、執行役員制度により経営の監督機能と業務執行を分離し、権限と責任を明確化するなど、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。当社の子会社においても、その規模や態様に応じて適正なガバナンスを実効的に機能させるべく、必要な体制を整備するとともに、グループ経営管理体制の枠組みの中で一体性を確保しています。

今後も引き続き、透明で効率性の高い企業経営をめざすとともに、コンプライアンスの徹底を経営の基本原則として位置付け、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範にもとることのない誠実かつ公正な企業活動を推進してまいります。

私たちみずほ証券はみずほフィナンシャルグループの一員として、
各社と連携したワンストップの高度なサービスを提供することで、皆さまに高い評価をいただいています。
常にマーケットに受け入れられる商品開発や、国内外を問わずお客さまの幅広い金融ニーズへ
的確かつスピーディにお応えすることで、お客さまや経済・社会の豊かな未来につなげてまいります。

みずほフィナンシャルグループ

みずほ銀行

- 資産運用
- 資産承継
- 資本政策
- 事業戦略
- 財務戦略

みずほ信託銀行

- 資産運用
- 資産承継
- 不動産
- 資本政策
- 事業戦略
- 財務戦略

その他
グループ会社

- 資産運用
- 不動産
- 資本政策
- 事業戦略
- 財務戦略

みずほ証券

- 資産運用
- 資産承継
- 不動産
- 資本政策
- 事業戦略
- 財務戦略

私たちの強み

お客さま起点・
お客さま本位の
**コンサルティング・
サービス提供**

プロフェッショナル
集団としての
**高度な専門性と
知見**

グループの総力を
結集した
**最適なソリューション
提供**

国内最大級の
顧客基盤と
**業界トップの
拠点ネットワーク**

グローバルなネットワークと
成長市場である
**米国における
高いプレゼンス**

社会構造・経済環境が大きく変容する中、お客さまの不安や経営課題の解決に向けて
グループ各社と連携した高度な金融サービスを提供



人生100年時代



グローバル化



デジタル化



サステナビリティ



地政学リスク



金融政策転換



お客さま





国内リテール ビジネス

- お客さまのライフプランに応じた質の高い総合資産コンサルティング
- 銀信証連携による多様なニーズに対するソリューション提供力
- 業界トップの国内店舗ネットワークを活かした、お客さまへのきめ細かなサービス対応力

総合資産コンサルティングを通じて、
お客さまの最善の利益を追求します

P.12

みずほ証券のプレゼンス (2023年度)

リテール

投資運用資産の増加

9年連続 1兆円超

2.0兆円

公募株式投資信託・
ファンドラップ
純増 1,250億円
5年連続 1,000億円超

豊富な投資信託ラインアップからお客さまのニーズに合わせて最適な商品を提供してまいります。

預かり資産残高

28.9兆円 (2017年3月末) → 55.5兆円 (2024年3月末)

フィデューシャリー・デューティーの実践を通じ、
お客さまの豊かな暮らしと企業活動のダイナミズムへ貢献します。



グローバル投資銀行 ビジネス

- インダストリーグループの専門性・知見、グローバルなセクター連携を通じた高度な提案力
- DCM*1での圧倒的存在感を起点としたESG／SDGsの先行的取り組み
- イノベーション企業に対し成長に寄り添ったバリューチェーンでのソリューション提供力
- 米州CIBモデル*2をはじめとした強固なグローバル銀証連携体制

先進的かつ最高水準の投資銀行サービスを
グローバルに提供します

P.14

*1: Debt Capital Market (債券引受)
*2: Corporate&Investment Banking 銀行・証券、プライマリー (Banking)、セカンダリー (Markets) を一体運営するビジネスモデル



グローバルマーケット ビジネス

- 多様な投資家ニーズに対応する商品力・プライス力
- 銀証一体でのデリバティブビジネスの展開
- 国内外の投資家・発行体ニーズをつないだソリューションの提供

お客さまの多様なニーズにお応えする
運用商品・サービスを提供します

P.16

ホールセール

国内公募債総合

1位

市場環境や発行体・投資家のニーズに対応した提案力により、業界No.1の引受額と評価を獲得しています。

SDGs債 SA就任件数
(ストラクチャリングエージェント)

1位

マーケットの潮流に合わせた先進的・波及的な案件ストラクチャリングで、4年連続1位の実績を誇ります。

総合ABS主幹事

1位

日本の証券化市場におけるフロントランナーであり、高い実績と評価を獲得しています。

M&A金額

7位

国内外のM&A案件におけるアドバイザリーサービス提供において、トップクラスの実績を有します。

内外エクイティ総合

4位

卓越した業界知見、最先端の案件組成能力、グローバルに強力なセールス体制を背景にトップクラスの引受実績を誇ります。

IPO主幹事件数

3位

ミドルキャップ／イノベーション企業の成長をサポートし、主幹事件数は業界トップクラスの実績を誇ります。

米国IG USD債

6位

銀証連携体制の強みを活かし、米国DCMIにおいてもトップクラスの実績を獲得しています。

さあ、未来を変えるファイナンスを。

〈みずほ〉は、その知見と金融・非金融のサービスをかけあわせ、サステナビリティの推進と、イノベーションの創出に取り組んでいます。

みずほ証券は、ブルーボンドをはじめ、国内SDGs債における数々の初案件をストラクチャリングした実績があります。

また、M&Aや証券化の対応も強化するため、体制を大幅に拡充しました。

今後もお客さまのサステナビリティ経営高度化・ビジネストランスフォーメーション(事業変革・事業構造再構築)戦略実行を後押しし、社会全体のサステナビリティ向上に貢献します。

さあ、未来を変えるファイナンスを。
Sustainable BX Partner

サステナビリティ重要テーマ

顧客本位の 営業スタイル確立



主な取組事項

- 総合資産コンサルティング力の向上
- 投資対象の多様化と運用パフォーマンスの向上

BX* 支援 事業構造転換起点的 ビジネス展開



*ビジネストランスフォーメーション

主な取組事項

- トランジションファイナンスの支援
- 事業ポートフォリオ再編のサポート

ミドル・イノベ企業支援 成長促進に向けた ソリューション提供



主な取組事項

- IPO、M&A、新しいスキームでの資金調達等、さまざまなソリューションの提供

資本市場活性化 ニーズをとらえた 市場仲介機能の発揮



主な取組事項

- 再エネファンド等、プロダクツの多様化
- ESG関連情報の提供力強化

サステナビリティ重要テーマ

環境・社会への配慮



主な取組事項

- Scope1.2のGHG排出削減
- 良質な金融教育サービスの提供・支援

人材力・組織力の向上



主な取組事項

- DE&Iの推進
- 社員エンゲージメントの向上

ガバナンス態勢高度化



主な取組事項

- 安定的業務運営の確立(グローバルガバナンス態勢の高度化等)

サステナブルビジネスに関する取り組み

日本のサステナブルファイナンス市場は、急速に成長しており、2023年度のSDGs債発行額は過去最大の6.7兆円にまで拡大しました。市場規模が拡大する中、みずほ証券の2023年度の引受額は1.2兆円で、国内SDGs債引き受けシェアは2019年度以降5年連続1位を維持する等、サステナブルファイナンス市場を牽引しています。

さらに、REFINITIV DEALWATCH AWARDSを4年連続受賞、Environmental Financeの地方自治体のグリーンボンド引受・SA実績において2年連続評価される等、各種外部機関からサステナブルビジネスにおける高い評価も獲得しています。

Pick Up

国内SDGs債
引受金額・シェア

5年連続

1位

2019 - 2023年度

国内SDGs債
SA就任件数

4年連続

1位

2020 - 2023年度

グローバルSDGs債
引受金額・シェア

過去最高位

3位

2023年度

DEALWATCH AWARDS
2023

DEALWATCH
AWARDS 2023

CELEBRATING THE ACHIEVERS IN JAPAN'S CAPITAL MARKETS

Environmental Finance誌
Sustainable Debt Awards 2024



また、数々の国内初・業界初、または先進的・波及的なサステナブルファイナンス案件への取り組みとともに、これまで培った知見を活かした多角的なアドバイザリー領域へも展開し、お客さまのサステナビリティへの取り組みを支援しています。

Topics

資源循環を促進する資金調達のサポート

みずほ証券は、イオン株式会社の持続可能な社会の実現に対するコミットメントを表すため、サステナビリティリンクボンドのKPIとして一般的な「CO₂排出削減目標」に加え、国内公募債初となる「使い捨てプラスチック使用量削減」と「食品廃棄物発生量削減」といった資源循環に関連するKPIの設定を支援しました。



より良いサービス
提供のために

みずほ証券では、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を、
全社横断で取り組む重要テーマの一つとして位置づけています。
『デジタルの時代にお客さまから最も信頼され、
すべての社員が躍動する証券会社へと進化する』ことを展望し、
4つのテーマを軸にデータ・デジタル技術の活用を通じた
お客さまサービスの質の向上と、競争力強化に努めています。

ビジネス高度化

- セールス&トレーディングにおける執行力強化
- 資産運用/資産管理に対するコンサルティングの高度化

業務効率化／
生産性向上

- コンタクトセンター業務の自動化
- ペーパーレス化、RPAなど各種ツール/技術の活用

新規ビジネス／
商品・サービスの創出

- AI/ブロックチェーン等のデジタル技術による新たな価値/商品/サービスの創出、提供

人材育成

- データサイエンティスト/AIエンジニアの育成プログラム
- DX人材育成プログラム

生成AIへの取り組み

当社は、2023年7月に社内向けChatGPTを導入して文章の作成やチェックなどの日常的な業務への活用を開始し、
現在では、情報検索や資料生成などの実用化検討や、業務システムに組み込むことで機能や利便性の向上に取り組んでいます。
今後、生成AIをさらに活用し、生産性の高い働き方や、コンサルティングなどのサービス品質の向上を実現してまいります。

リテラシー醸成

生成AI活用の浸透

取り組み内容や実績

生成AIリテラシーの醸成/
ユースケースの探索

- ◆ 社内向けChatGPTの導入
- ◆ 勉強会/アイデアソン実施



文章の生成

文章の下書き・校正や、
情報の分析・要約



アイデア出し

企画のブラッシュアップに向け
たアイデアの壁打ち・相談

ChatGPTの業務活用/
生成AIの実用化検証

- ◆ ChatGPT導入後2か月弱で10万件超のアクセス
- ◆ 生成AIのAPI*活用環境を整備し、実用化の仮説を立案

※Microsoft社の提供する
Azure OpenAI Serviceを活用



資料作成

議事録等の社内資料作成



社内マニュアル検索

社内マニュアルに基づく
質疑応答・参照元の提示

生成AIの実用化検証/
利用開始

- ◆ 情報検索/資料生成などの実用化検証
- ◆ 業務システムへの組み込みによる機能/利便性向上



ニーズの予測と解説

お客さまニーズの予測と、
その根拠の解説



オペレータ補助

問い合わせへの
回答案の提示

今後の取り組み

生成AI活用の浸透

- ◆ 生産性の高い働き方/
お客さま向けサービス
品質向上の実現



AIアシスタント

情報収集、タスク管理
などの日常業務を
幅広く統合的に支援



パーソナライズ提案

お客さま一人ひとりに
寄り添った商品・
サービスの提案

幅広い世代の金融リテラシー向上を支援するため、省庁や大学などと連携し、
受講者のニーズに応じた、金融経済・投資に関する授業・講義の実施、支援などを行っています。
また、取り組みを通じて培った知見やネットワークを活かして、サステナビリティに関する
共同研究、共催シンポジウム等の産官学連携にも継続的に取り組んでいます。

金融経済教育・
投資教育

小学校向け

中学校向け

高等学校向け

教員支援・養成

大学・専門学校向け

社会人向け

産官学連携

寄付講座、
共同研究・書籍出版、
シンポジウム共催・後援

主な取り組み

出張授業・講義の実施

金融経済教育のより一層の普及のため、各都店の社員が
講師を務め、全国で講義を実施しています。



社員による社会人向け講義

公共図書館向け書籍の出版協力（小学生向け）

小学生がお金について正しい知識を習得できるよう、
マンガやテーマ
（キャッシュレス等）を通じて、
親子でも、学校でも学べる
書籍の作成に協力しました。



「はじめてのお金教室」全4巻
出版：文研出版（新興出版社啓林館）

デジタル教材の開発（中学・高校生向け）

経済産業省が推進するデジタル教材開発事業（STEAM
ライブラリー）の一環として、早稲田大学とともに教材を
開発し、同省のウェブサイトを通じて無償公開しています。



<https://www.steam-library.go.jp/content/9>

「ファイナンス用語集」（ウェブサイト）

ファイナンスに関心をお持ちの方の学習・研究の
一助となることを目的に、一橋大学との共同で
ウェブサイトを構築し、公開しています。



教員養成支援・研究

教育の普及を支援するために、教育を実践できる
教員の養成を目的に早稲田大学教職大学院への
委託研究等を行っています。



教職大学院生との共同授業

大学・大学院への寄付講座提供

今後の資本市場を担う人材の育成をめざし、フィンテック、
サステナブル・ファイナンス等を含めた資本市場の最新動
向に関する寄付講座を提供しています。



社員による講義の様子

国内リテール ビジネス

必要なときに必要な形でお客様の人生や事業活動に寄り添い、個人および法人のお客様に高度な金融サービスとソリューションを提供することで、〈みずほ〉でしか得られない価値体験を提供しています。

また、多様化するお客様のニーズにお応えするため、業界トップの店舗ネットワーク、コールセンター、インターネット（みずほ証券ネット倶楽部）のチャンネルもご用意しています。



〈みずほ〉の総合資産コンサルティング

リテール・事業法人部門では、フィデューシャリー・デューティー^{*1}の実践を通じて、お客様一人ひとりの夢や想い、目標等のゴールに寄り添い、その実現に向けた最適な商品・サービスを提供することで、中長期的な資産形成をサポートします。

また、安心して取引を継続いただけるよう、相場・市場動向の変化やお客様の状況に応じた、丁寧なアフターフォローを実施しています。

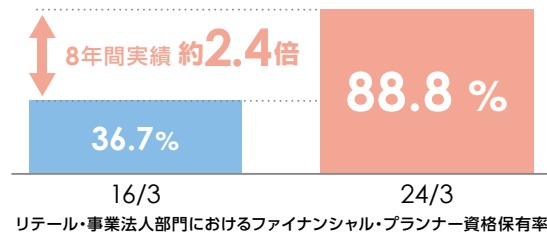
^{*1} フィデューシャリー・デューティー：金融商品の販売、資産管理、運用等を行うすべての金融機関等が負う責務として、お客様の最善の利益を図るよう誠実・公正に業務運営を行うこと。

Pick Up

ファイナンシャル・プランナー資格保有者

コンサルティング力の更なる向上のため、ファイナンシャル・プランナー資格取得支援をはじめとする人材の育成にも注力しています。

ファイナンシャル・プランナー資格は、リテール・事業法人部門所属社員の約9割が保有しています。



R&I「顧客本位の金融販売会社評価」において「S+」評価を取得

顧客の最善の利益を追求した販売運営・取組状況が評価され、R&I「顧客本位の金融販売会社評価」において「S+」評価を4年連続で取得しました。



2023年度「CRMベストプラクティス賞」を受賞（7年連続受賞）

顧客中心主義経営の実現をめざし、戦略・オペレーション・組織の観点からお客様との関係を構築し、その成果を上げている企業・官公庁・団体を表彰する「CRMベストプラクティス賞」を7年連続で受賞しました。



チャンネル

みずほ証券では、国内店舗ネットワークに加えて、コールセンター、インターネット（みずほ証券ネット倶楽部）を重要なチャンネルと位置づけ、多様化するお客様のニーズにお応えしています。

また、ソーシャルメディアを活用したコンテンツの展開など、デジタルを活用したお客様への投資情報の提供にも取り組んでいます。



≫ 営業店

営業担当者がおお客様のライフプランに基づき、資産運用をはじめとする多様なニーズにお応えしています。

また、みずほフィナンシャルグループとしてのネットワークづくりの一環として、銀信証一体でのコンサルティング機能強化に向けた、共同店舗展開に取り組んでおり、全102カ店中75カ店が共同店舗となっています。（2024年6月末時点）

≫ コールセンター

コールセンターでは、取引のご注文のほか、お客様のさまざまなお問い合わせに、分かりやすく丁寧に応えます。

Pick Up

2023年、「COPC® CX規格CSP版」の認証を7年連続で取得



米国COPC社より、コンタクトセンター業務において、パフォーマンスの優秀な組織のみが得られる国際基準の品質保証規格を取得しました。

2023年、HDI「五つ星認証」を3年連続で取得



HDI-Japanより、サポートセンター国際認定に基づく審査を受け、内外ともに認められる真のビジネスに貢献できるセンターとして認定されました。

≫ インターネット

パソコンやスマートフォンでのオンライン取引や、LINE・メール等によるタイムリーな投資情報の提供を行っています。



みずほ証券ネット倶楽部



株アプリ



市況・投信情報 (LINE)

金融経済教育の取り組み

みずほ証券では、幅広い世代のライフプラン、金融、資産形成等に関する知識向上のため、教育支援に積極的に取り組んでいます。

主な取り組み

- ・企業、自治体、団体向け講座
- ・大学、専門学校向け講座
- ・小学校、中学校、高等学校向け出張授業

（金融経済教育についてはP11もご参照ください）

グローバル 投資銀行ビジネス

グローバル投資銀行部門は、お客さまの窓口となるカバレッジ組織と、専門性の高いソリューションを提供するプロダクツ組織から構成されています。資本市場を活用した債券、株式による資金調達や、経営戦略に関わるM&Aアドバイザリー等の投資銀行サービスをグローバルに提供します。

高度化・多様化するお客さまのニーズに対して、事業戦略や財務戦略への深い理解と産業・業界に対する知見、投資銀行ビジネスの高い専門性を結集・発揮し、オーダーメイドでソリューションを提供することで、お客さまとの戦略的パートナーシップを構築してまいります。



2023年度の案件トピックス

当社は高度化・多様化するお客さまのニーズを踏まえ、オーダーメイドでソリューションを提供しています。

Pick Up

大韓民国
円債

700億円
2023年9月

楽天グループ
グローバルオファリング

3,070億円
2023年5月

JSR
JICキャピタルによる非公開化

2023年6月

**サントリー
ホールディングス**
グリーンボンド

200億円
2023年11月

Arm Holdings Limited
IPO

\$4.9bn
2023年9月

グッピース
メドレーによる子会社化

2024年1月

**ジャパンインベストメント
アドバイザ**
無格付公募社債

35億円
2023年9月

ソラコム
IPO

108億円
2024年3月

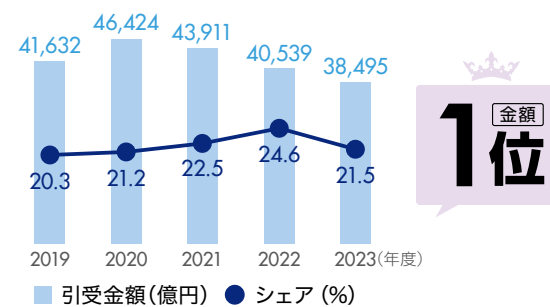
東京ガス
米子会社による
Rockcliff Energy II LLC買収

2023年12月

債券引受業務

債券引受業務では、市場環境と発行体のニーズをとらえた提案力、投資家の需要を的確に反映したプライシング能力や市場変化への迅速な対応力、強力な債券販売力等により、業界ナンバーワンの評価をいただいています。

国内公募債総合



国内公募債総合 (2023年4月1日～2024年3月31日)

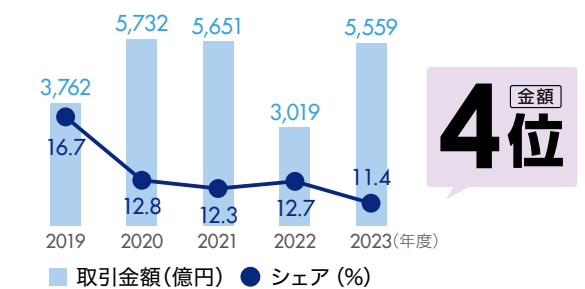
順位	会社名	引受金額(億円)	シェア(%)
1位	みずほ証券	38,495	21.5
2位	野村證券	37,928	21.2
3位	大和証券	33,598	18.8
4位	SMBC日興証券	29,616	16.6
5位	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	25,668	14.4

引受金額ベース、ローンチ日ベース サムライ債、地方債(主幹事方式)、優先出資証券を含み、自社債・証券化・ST除く
(出所) Capital Eyeの情報を基に、みずほ証券にて作成

株式引受業務

株式引受業務では、卓越した株式引受ノウハウの活用と国内外での強力なエクイティ販売力等により、大型の主幹事案件を着実に獲得し、業界トップクラスの実績をあげるとともに、株式上場を展望されるお客さまを幅広くサポートする株式上場支援業務を行っています。

内外エクイティ総合



内外エクイティ総合 (2023年4月1日～2024年3月31日)

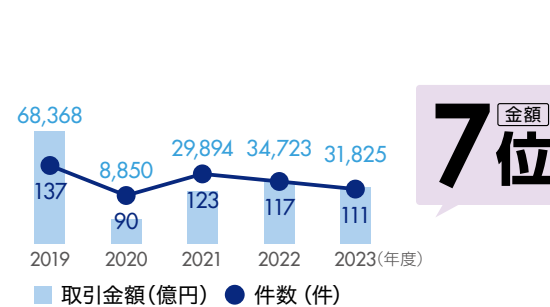
順位	会社名	取引金額(億円)	シェア(%)
1位	野村ホールディングス	12,937	26.6
2位	SMBC日興証券	8,960	18.4
3位	大和証券グループ本社	5,972	12.3
4位	みずほフィナンシャルグループ	5,559	11.4
5位	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5,462	11.2

ブックランナーベース、価格決定日ベース 新規公開株式、既公開株式、転換社債型新株予約権付社債の合算(REIT含む)
(出所) LSEGの情報を基に、みずほ証券にて作成

M&Aアドバイザリー業務

最先端の知識とノウハウを駆使してお客さまの経営戦略に応じた助言を提供するM&Aアドバイザリー業務では、国内企業同士のM&A案件のみならず、近年増加傾向にあるクロスボーダー案件においてもグローバルベースのサービスの提供を通じて、業界トップクラスの実績を獲得しています。

M&A公表案件



M&A公表案件 (2023年4月1日～2024年3月31日)

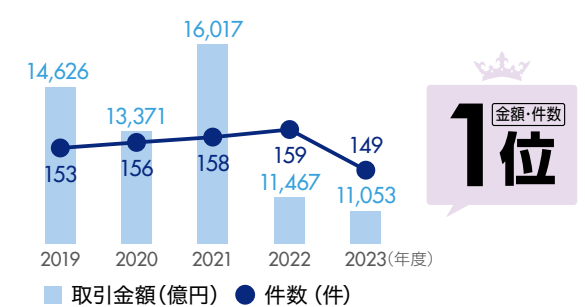
順位	会社名	件数	取引金額(億円)
1位	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	58	73,870
2位	野村證券	101	64,422
3位	BofAセキュリティーズ	32	46,139
4位	ゴールドマン・サックス	23	38,835
5位	JPMorgan	13	36,077
7位	みずほフィナンシャルグループ	111	31,825

取引金額ベース、日本企業関連、不動産案件除く
(出所) LSEGの情報を基に、みずほ証券にて作成

ストラクチャードファイナンス業務

不動産や金銭債権等、幅広い資産の流動化を取り扱うストラクチャードファイナンス業務は、名実ともに日本の証券化市場におけるフロントランナーであり、高い実績と評価を獲得しています。

総合ABS主幹事



総合ABS主幹事 (2023年4月1日～2024年3月31日)

順位	会社名	件数	取引金額(億円)
1位	みずほフィナンシャルグループ	149	11,053
2位	三菱UFJフィナンシャル・グループ	32	5,755
3位	三井住友トラスト・ホールディングス	37	3,671
4位	モルガン・スタンレー	11	1,854
5位	大和証券グループ本社	9	1,826

取引金額ベース、払込日ベース
(出所) LSEGの情報を基に、みずほ証券にて作成

グローバル マーケットビジネス

グローバルマーケット部門では、機関投資家、金融法人、事業法人など国内外のお客さまに対し、国内外の公社債や株式をはじめ、仕組債、証券化商品、デリバティブなど、多様な運用商品・サービスを提供しています。昨今、ボラティリティが高まりつつある難しい運用環境の中にあって、当社は東京・香港・ロンドン・ニューヨーク等の拠点が連携し、24時間体制のセールス&トレーディングを通じ世界中の投資家と発行体を結び付け、お客さまの投資方針やリスク選好に応じた付加価値の高いソリューションを提供してまいります。

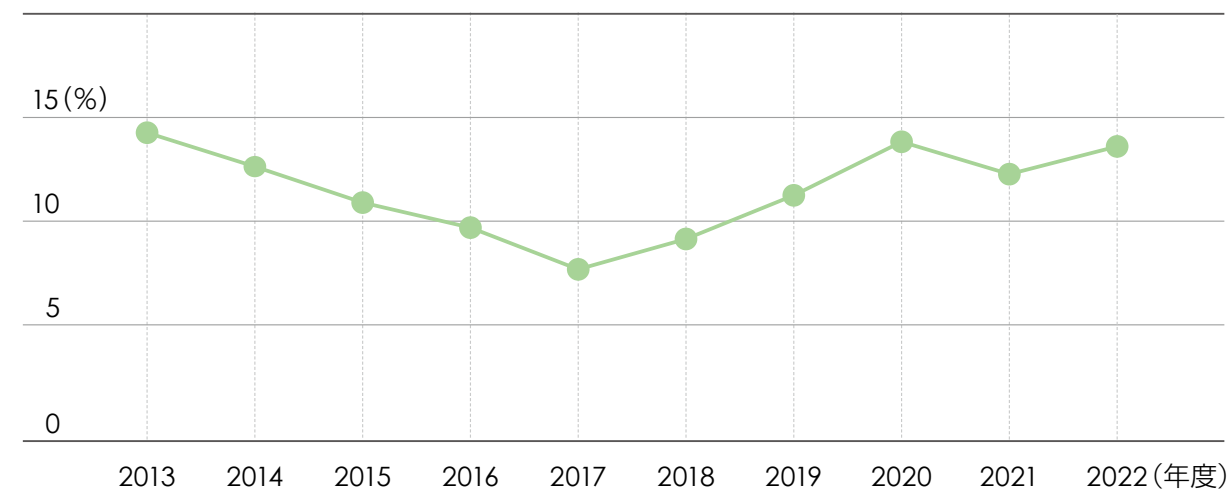


債券

円債においてトップティアの市場取引シェアを獲得する等、マーケットリーダーとしてのステータスを確立している債券業務では、お客さまの投資戦略に即した的確な商品提供、積極的なマーケットメイク、高度な情報提供を行っています。また、国内外一体運営によりクロスボーダー取引の強化を推進し、グローバルマーケットを通じてお客さまの多様なニーズにお応えしています。



円建て債券シェア



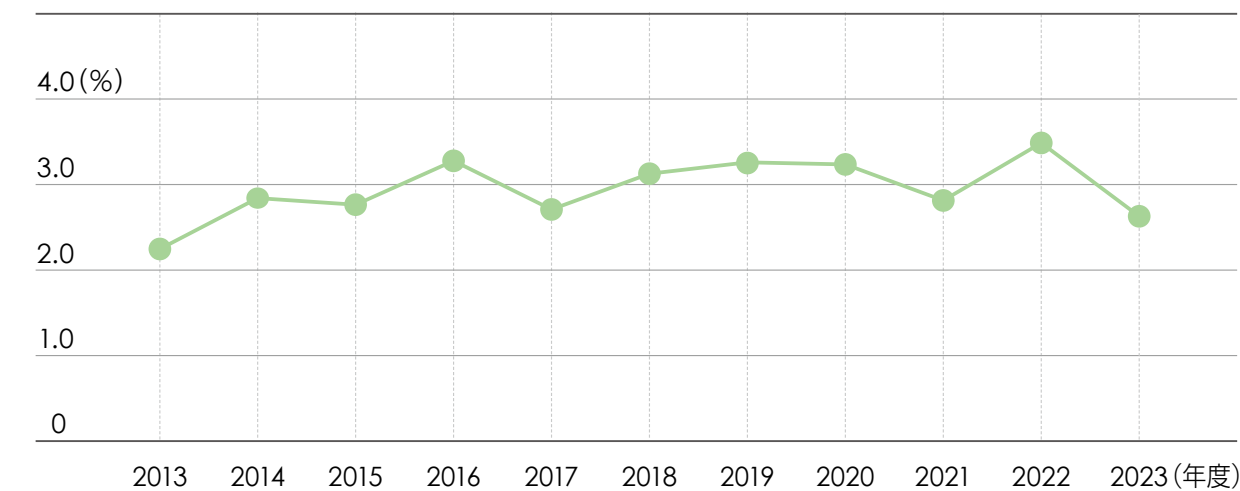
出所)Greenwich Associatesの情報(2013年より2022年までの円建債券調査)を基に、みずほ証券にて作成

株式

株式業務では、トップクラスのリサーチに加え、電子取引等の執行サービス、国内外向けIR、デリバティブやエクイティファイナンス等のプロダクト提供を強化し、お客さまの高度化するニーズに的確にお応えしています。さらに、法人・個人のお客さま双方にお役に立てる取引手法や情報提供の充実に取り組んでいます。また、国内のみならず、米国・欧州・アジアの各拠点と連携しグローバル一体となった運営を強化しています。



東証売買代金シェア



リサーチ (投資情報の提供)

専門性の高いアナリスト、エコノミスト、ストラテジスト陣による充実した体制で、内外業界動向、上場企業、内外景気、金利、為替、クレジット、ESG等についてさまざまな角度から調査・分析・評価をしています。
これらの結果は、各種見通しや投資戦略等、資産運用に役立つ情報として、各種レポートやセミナー・イベント、メディア等を通じて、投資家の皆さまへお届けしています。



Pick Up

株式、債券ともに、長年にわたり国内トップクラスのリサーチハウスとして 業界最高水準の評価をいただいています

株式リサーチでは、日経ヴェリタス発表の2024年「人気アナリスト調査」において、会社別で3位を獲得、部門別では7名のアナリストが1位を獲得しました。
また、債券リサーチでは、日経ヴェリタス発表の2024年「債券・為替アナリスト エコノミスト人気調査」において、会社・グループ別でみずほフィナンシャルグループが3位を獲得、部門別では1名のアナリストが1位を獲得しました。
私たちは、お客さまのあらゆる課題解決に対して最適なソリューションを提供するべく、今後ともリサーチ力のさらなる向上に努めてまいります。

3位

日経ヴェリタス
「第36回 人気アナリスト調査」
会社別順位

出典：日経ヴェリタス 2024.3.3
トップアナリストが読む24年相場

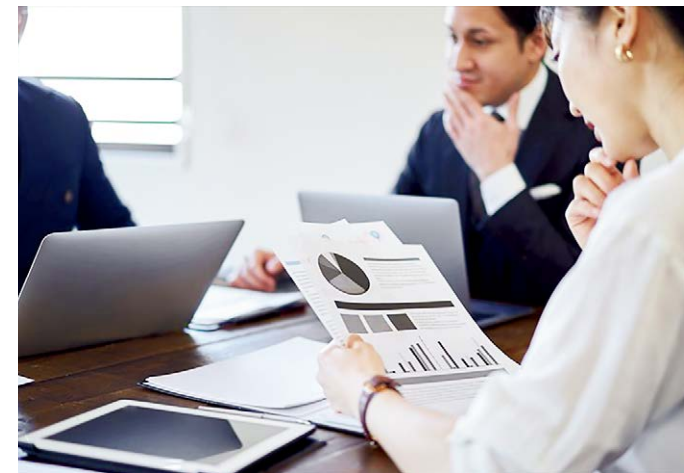
3位

日経ヴェリタス
「第29回 債券・為替アナリスト
エコノミスト人気調査」
会社・グループ別順位

出典：日経ヴェリタス 2024.3.10
金利ある世界、24年どう展望

リサーチ業務

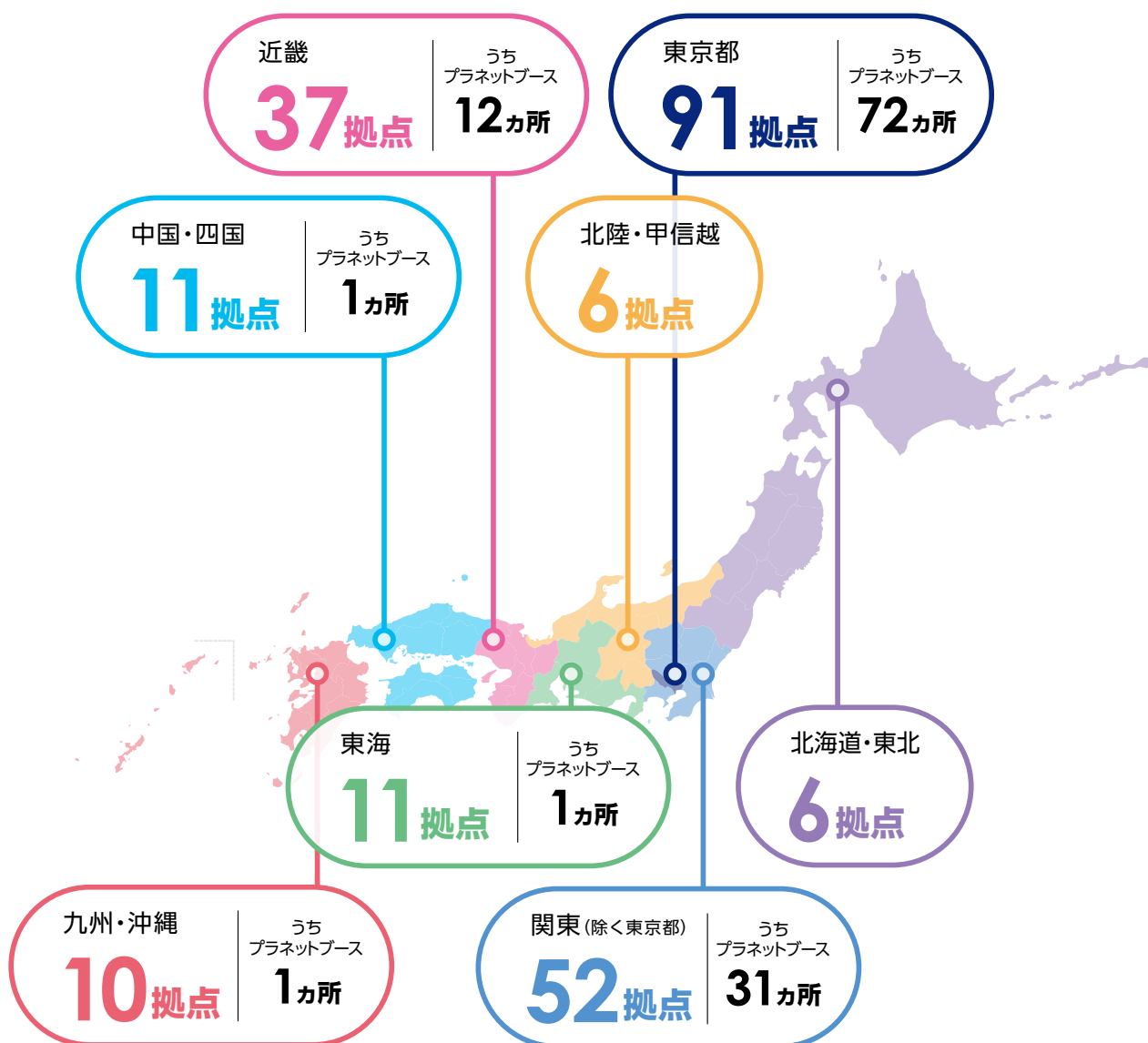
株式リサーチ業務では、国内外のお客さまのニーズを踏まえ、日本を含むパン・アジアベースでのリサーチ体制強化に努めています。国内トップクラスのストラテジスト、エコノミスト、セクターアナリスト等が、業界動向および個別企業の株式評価、株式投資戦略、クオンツ分析、各種テーマレポート等の提供を通じて、多様なニーズにお応えしています。
債券リサーチ業務では、国内有数の充実したエコノミスト、アナリスト陣が、内外景気・金利・為替見通しの提供、発行体のクレジット分析、海外金融機関の分析、内外金融政策の影響評価、債券投資戦略等の提案を行っています。
また、昨今は、デジタルイノベーションを活用したリサーチの高度化を推進しているほか、ESG等に関する最新情報の提供にも力を入れています。



セミナー・投資家イベント

みずほ証券では、セールスとリサーチが連携して機関投資家向けに大小さまざまなセミナーやイベントを開催しています。大規模なイベントとしては、企業と投資家による1on1/グループミーティングおよびアナリスト主催のツアーからなる「コンファレンス」(2020年からは「Japan Alpha Conference」)を例年9月に東京で開催しています。2023年度は、対面形式で約270名の国内外の機関投資家と約180社の企業をお招きし、盛況に終わりました。また、投資家の皆さまの関心の高いテーマを取り上げたセミナーを日常的に開催し、投資判断に役立つアイデアや情報を、タイムリーに分かりやすく発信しています。





(2024年6月30日現在)

欧 州

- みずほインターナショナル
有価証券の引受け・販売および売買、
M&Aアドバイザリー業務等
本社：ロンドン
- みずほセキュリティーズヨーロッパ^{*1}
有価証券の引受け・販売および売買等
本社：フランクフルト
- みずほEMEAコーポレートサービスズ^{*1}
事務受託業務
本社：ロンドン

北 米

- 米国みずほ証券^{*2}
有価証券の引受け・販売および売買、
先物取引仲介業務、M&Aアドバイザリー業務等
本社：ニューヨーク
- みずほセキュリティーズカナダ^{*3}
有価証券新規発行に関する助言および
有価証券の引受け
本社：トロント

ア ジ ア

- みずほセキュリティーズアジア
有価証券の引受け・販売および売買、投資顧問業務等
本社：香港
- みずほセキュリティーズシンガポール
有価証券の引受け・販売および売買、
M&Aアドバイザリー業務、ウェルスマネジメント業務
本社：シンガポール
- みずほマーケットツフューチャーズシンガポール^{*4}
上場先物の取次ぎ・清算業務
本社：シンガポール
- みずほセキュリティーズインディア
海外資金調達・M&A等の斡旋および紹介
本社：ムンバイ

- ◆ 北京駐在員事務所
情報収集等
- ◆ 上海駐在員事務所
情報収集等

^{*1} みずほインターナショナルの100%子会社
^{*2} 資本関係は米国銀行持株会社米州みずほLLC傘下
^{*3} 米国みずほ証券の100%子会社
^{*4} みずほセキュリティーズシンガポールの100%子会社

(2024年6月30日現在)

欧州

- みずほインターナショナル
- みずほセキュリティーズヨーロッパ
- みずほEMEAコーポレートサービスズ

北米

- 米国みずほ証券
- みずほセキュリティーズカナダ

アジア

- みずほセキュリティーズアジア
- みずほセキュリティーズシンガポール
- みずほマーケットツフューチャーズシンガポール
- みずほセキュリティーズインディア

- ◆ 北京駐在員事務所
- ◆ 上海駐在員事務所

会社概要

商 号	みずほ証券株式会社 (英文社名:Mizuho Securities Co., Ltd.)
本 社 所 在 地	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア 電話:03-5208-3210(代表)
設 立	1917年7月
代 表 者	取締役社長 浜本 吉郎
主 な 事 業	金融商品取引業
金融商品取引業者 登 録 番 号	関東財務局長(金商)第94号
資 本 金	125,167百万円
従 業 員 数	7,092人
国内外ネットワーク	国内224拠点 海外21拠点
加 入 取 引 所 等	東京証券取引所、大阪取引所、名古屋証券取引所、 福岡証券取引所、札幌証券取引所、東京金融取引所
加 入 協 会	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人金融先物取引業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会、 一般社団法人日本STO協会

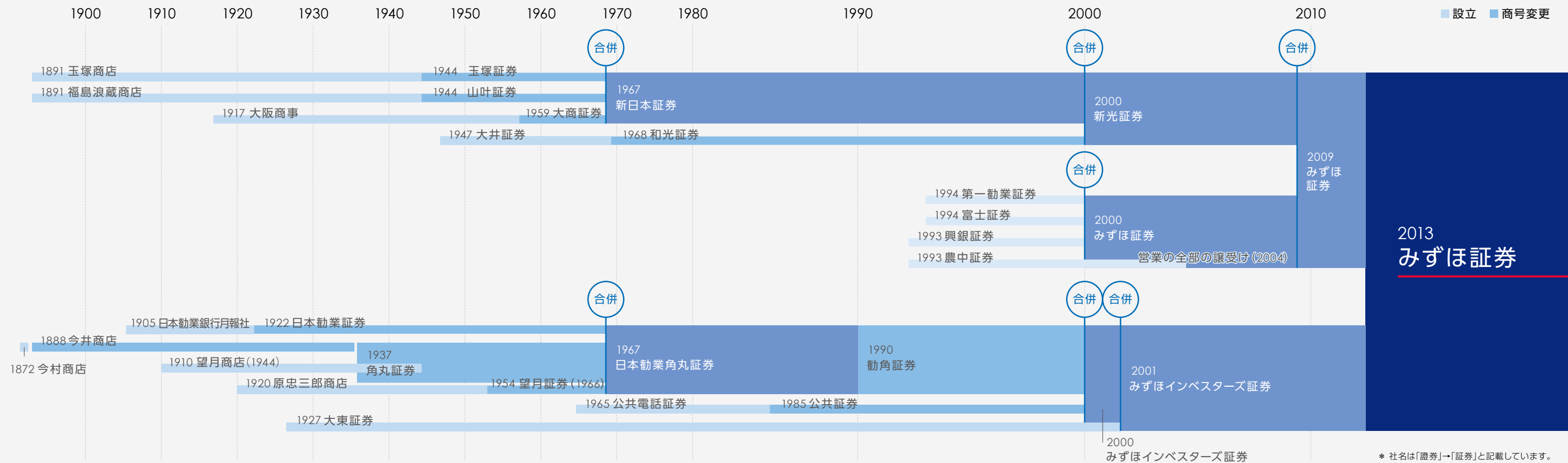
(2024年6月30日現在)

国内関係会社

コンサルティング等	株式会社日本投資環境研究所 株主判明調査、IRアレンジ、IPOコンサルティング、コーポレート・ガバナンスの調査・研究等のコンサルティング・調査事業や研修・資格取得支援等のエデュケーション事業を展開しています。
スマホ専門証券	PayPay証券株式会社 国内初のスマホ専門証券として、「身近で親しみやすい」「分かりやすい」というコンセプトの下、生活シーンと金融事業を融合した新たな次世代型金融サービスを提供しています。
インターネット専門証券	楽天証券株式会社 機能性・利便性、UI/UXに優れた、独自の取引プラットフォームを有するネット専門証券として、楽天経済圏とのシナジーを活かしながら、資産形成層からトレーダー層に至るまでの幅広い層のお客さまに対して、資産形成・資産運用サービスを提供しています。
ファイナンシャルアドバイザー業務	MiRaI ウェルス・パートナーズ株式会社 みずほ証券と楽天証券を委託元とする金融商品仲介業者(楽天証券との共同出資会社)。楽天証券のUI/UXに優れたプラットフォームと豊富な商品ラインアップをベースに、〈みずほ〉の総合力を活かした専門性の高いファイナンシャルアドバイザーサービスの提供により、資産形成から活用、承継まで、さまざまな悩みにお応えします。
本社サポート	みずほ証券ビジネスサービス株式会社 お客さまとの取引を円滑かつ確実にする観点から、事務面で本社機能をバックアップする業務を展開しています。

(2024年6月30日現在)

沿 革



* 社名は「證券」→「証券」と記載しています。

役員紹介

取締役

取締役社長*1 (代表取締役)
浜本 吉郎



取締役会長
関 正樹



取締役副社長*1 (代表取締役)
白川 至



取締役 (非常勤)
木原 正裕



取締役 (監査等委員)
若林 豊



取締役 (監査等委員) (非常勤)
菊地 比左志



取締役*2 (監査等委員) (非常勤)
橋本 泰久



取締役*2 (監査等委員) (非常勤)
鈴木 洋之



取締役*2 (監査等委員) (非常勤)
古賀 政治



取締役*2 (監査等委員) (非常勤)
大森 美和



*1 執行役員を兼務しています。 *2 取締役のうち橋本泰久、鈴木洋之、古賀政治および大森美和の4氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。 (2024年6月26日現在)

副社長執行役員

副社長執行役員
丸小 啓二



常務執行役員

常務執行役員
南條 豊



グローバル投資銀行部門

常務執行役員
山崎 栄一



常務執行役員
高橋 直樹



常務執行役員
上山 大樹



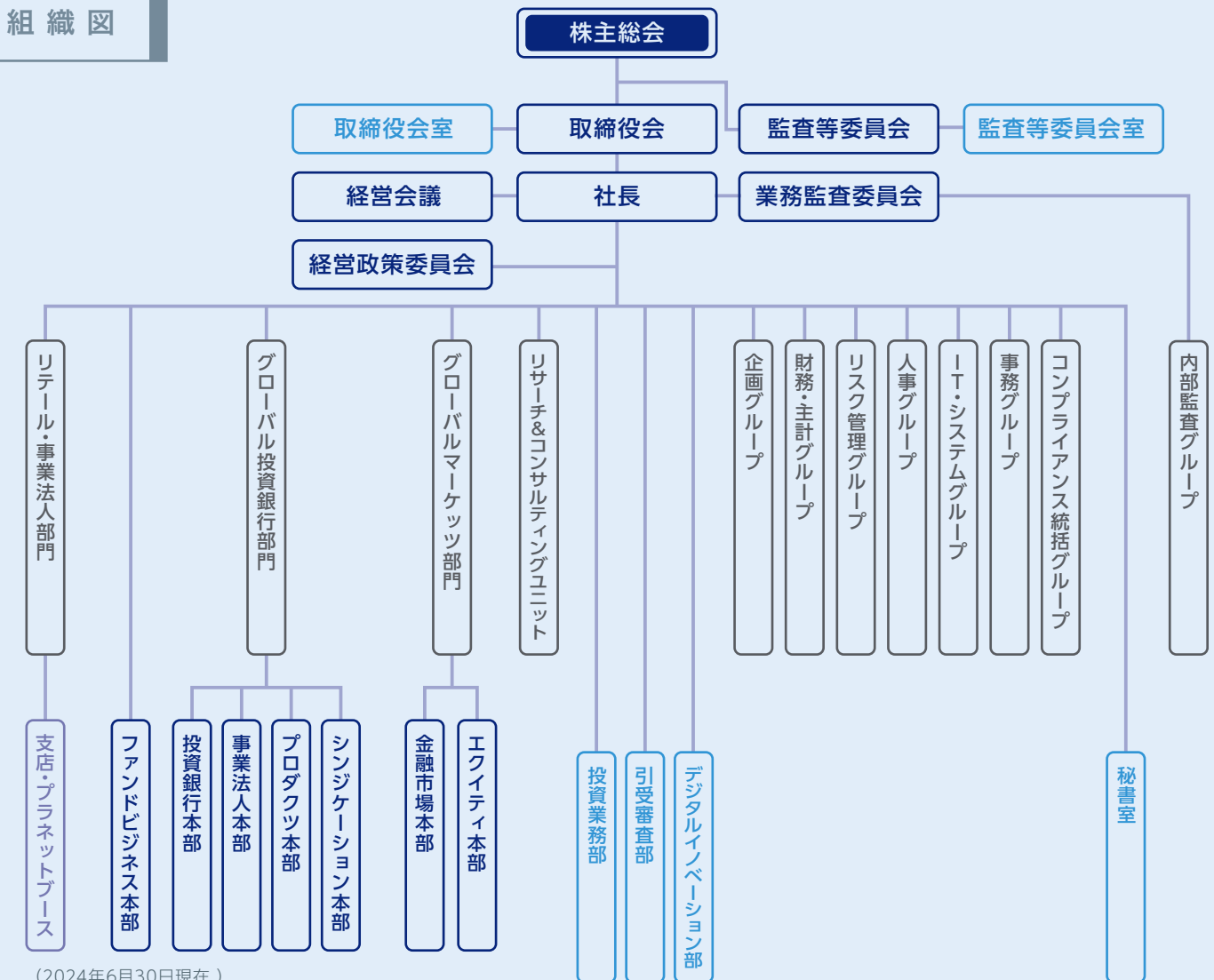
常務執行役員
平田 芳久



常務執行役員
栃折 卓彦



組織図



グローバルマーケット部門

常務執行役員
佐々木 大志



リテール・事業法人部門

常務執行役員
中山 博史



コーポレート

常務執行役員
Jerry Rizzieri



常務執行役員
Suneel Bakhshi



常務執行役員
浅井 寛



常務執行役員
寺井 理



(2024年6月26日現在)



みずほ証券は、東京ディズニーランド®／東京ディズニーシー® の オフィシャルスポンサーです

みずほ証券は、東京ディズニーランド® のアドベンチャー
ランドにあるアトラクション「魅惑のチキルーム：
スティッチ・プレゼンツ“アロハ・エ・コモ・マイ！”」、
東京ディズニーシー® のメディテレーニアンハーバーに
あるレストラン「マゼランズ」を提供しています。

私たちは、お客さまに常に選ばれるサービスを提供し、
社会の発展に貢献することによって、皆さまの夢を
応援してまいります。



魅惑のチキルーム：スティッチ・
プレゼンツ“アロハ・エ・コモ・マイ！”



マゼランズ



© Disney